

平成21年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成20年11月6日

上場会社名 株式会社ルネサンス

上場取引所 東

コード番号 2378 URL <http://www.s-renaissance.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 唐木 康正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員最高財務責任者兼
経理財務担当 (氏名) 中川 克夫

TEL 03-5600-5312

四半期報告書提出予定日 平成20年11月6日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	17,257	—	184	—	184	—	△24	—
20年3月期第2四半期	16,520	8.3	127	△86.0	122	△85.9	9	△98.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△1.20	—
20年3月期第2四半期	0.46	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	22,524	8,284	8,284	36.8	387.50			
20年3月期	19,985	7,808	7,808	39.1	391.21			

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 8,284百万円 20年3月期 7,808百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	5.50	5.50
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,100	9.7	790	22.3	700	11.7	240	3.2	11.48

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 21,379,000株 20年3月期 19,960,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 83株 20年3月期 83株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第2四半期 20,432,917株 20年3月期第2四半期 19,960,000株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.上記の業績予想は、本資料の発表時現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれております。日本経済、競合状況、株式市況等に不透明な面があり、実際の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。なお、詳細につきましては、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3.業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2.当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(参考)

平成 21 年 3 月期第 2 四半期の業績

(百万円未満切捨て)

(1) 経営成績 (会計期間) (平成 20 年 7 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21 年 3 月期第 2 四半期	9,141	—	442	—	447	—	214	—
20 年 3 月期第 2 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1 株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21 年 3 月期第 2 四半期	10	27	—	—
20 年 3 月期第 2 四半期	—	—	—	—

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する分析

当第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)におけるわが国経済は、原油等の資源価格の高騰やサブプライムローン問題に端を発するアメリカ金融市場の混乱等から企業収益が減少し、停滞感を増しております。

当業界では、女性専用のサーキットジムの出店は一巡したものの、総合型のフィットネスクラブの出店は続いており、クラブ間の競争が激化しております。

このような状況の中、当社は新規クラブの出店及び同業他社との合併により、事業の拡大に努めました。

当第2四半期累計期間においては、4月に一橋大学小平国際キャンパス如水スポーツプラザ(東京都小平市)の業務受託を開始し、5月に曳舟(東京都墨田区)、6月に仙台南光台(仙台市泉区)の直営2クラブを新規出店いたしました。

また、首都圏でスポーツクラブを展開する株式会社リーヴ・スポーツと8月1日付で合併し、直営10クラブ(リーヴ東久留米[東京都東久留米市]、同ひばりヶ丘[東京都西東京市]、同横浜[横浜市西区]、同相模大野[神奈川県相模原市]、同橋本[神奈川県相模原市]、同大和[神奈川県大和市]、同幕張[千葉市美浜区]、同北朝霞[埼玉県朝霞市]、同北戸田[埼玉県戸田市]、同春日部[埼玉県春日部市])と受託2クラブ(リーヴ新百合ヶ丘フットサルクラブ[川崎市麻生区]、新丸ビルジム[東京都千代田区])を加えております。

なお、契約期間の満了等により、7月末に千葉穴川(千葉市稲毛区)、8月末に松戸馬橋(千葉県松戸市)、長野(長野県長野市)、神戸ハーバーランド(神戸市中央区)の合計4クラブを閉店いたしました。

この結果、当第2四半期末のクラブ数は、直営96クラブ、業務受託8クラブ、フランチャイズ1クラブの計105クラブとなりました。

既存クラブについては、競争環境の激化に加え、原油高等に伴う物価上昇の影響により消費マインドが悪化し、若年層を中心にフィットネス会員の入会者数が減少しております。そのため、下表のとおり月末在籍会員数が前年を下回って推移いたしました。売上高については、前年同期比△2.9%となりました。

既存クラブ月末在籍会員数の推移(単位:%)

	第1四半期			第2四半期			6ヵ月累計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
前年同月比	△2.3	△3.2	△4.3	△4.3	△4.5	△4.7	△3.9

なお、5月に広島(広島市南区)、7月に仙川(東京都調布市)、港南中央(横浜市港南区)の直営3クラブについて、内装等のリニューアルを行い、競争力の強化を図っております。

また、収益基盤回復に向けて、効率的な販促費の投入や人員配置の最適化などクラブ運営コストの抜本的な見直しを推し進め、損益分岐点の引き下げを行っております。

以上の結果、当第2四半期累計期間においては、売上高は新規出店及び合併によるクラブ増加により172億57百万円(前年同期比4.5%増)となり、利益面では、クラブ運営コストの低減が進んだこと、また直営の新規出店が前年同期の4クラブから2クラブと半減し初期費用が減少したこと等により、営業利益は1億84百万円(同44.4%増)、経常利益は1億84百万円(同51.2%増)、四半期純利益は閉店に伴う減損処理等の特別損失が1億66百万円発生したことから△24百万円(同33百万円悪化)となりました。

なお、文中の前年同期比及び前年同期の金額は参考として記載しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前期末に比べ25億39百万円増加し、225億24百万円となりました。これは主に株式会社リーヴ・スポーツとの合併により敷金及び保証金や現金及び預金が増加したことにより投資その他の資産合計が14億93百万円、流動資産合計が5億51百万円増加したことによるものです。

② 負債

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前期末に比べ20億63百万円増加し、142億39百万円となりました。これは主に株式会社リーヴ・スポーツとの合併により長・短借入金が増加したことにより流動負債合計が15億64百万円、固定負債合計が4億99百万円増加したことによるものです。

③ 純資産

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前期末に比べ4億75百万円増加し、82億84百万円となりました。これは主に株式会社リーヴ・スポーツとの合併に伴う新株発行により、資本剰余金が増加したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末に比べ2億75百万円増加し、5億66百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は、10億29百万円となりました。これは主に税引前四半期純利益19百万円、減価償却費7億93百万円、賞与引当金の増加額80百万円、減損損失67百万円によるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動に使用した資金は、10億23百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出5億80百万円、敷金及び保証金の差入による支出5億11百万円によるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動に使用した資金は、91百万円となりました。これは長期借入金の返済による支出4億36百万円、配当金の支払額1億5百万円、短期借入金の純増加額4億50百万円によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想については、平成20年10月30日の公表数値から変更はいたしておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

詳細は、11ページ【簡便な会計処理】をご覧ください。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

詳細は、12ページ【四半期財務諸表の作成に特有の会計処理】をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

詳細は、11ページ【四半期財務諸表のための基本となる重要な事項等の変更】をご覧ください。

5. 四半期財務諸表
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	532,182	265,554
売掛金	743,098	716,924
商品	434,344	508,557
その他	1,465,636	1,131,009
貸倒引当金	△20,019	△17,987
流動資産合計	3,155,242	2,604,057
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,648,193	5,482,608
その他(純額)	2,311,338	2,272,348
有形固定資産合計	※ 7,959,532	※ 7,754,956
無形固定資産	816,125	526,622
投資その他の資産		
敷金及び保証金	7,996,851	6,871,801
その他	2,627,363	2,240,541
貸倒引当金	△30,960	△12,960
投資その他の資産合計	10,593,254	9,099,382
固定資産合計	19,368,913	17,380,962
資産合計	22,524,155	19,985,019

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	232,756	151,723
買掛金	116,027	137,599
短期借入金	4,460,000	3,800,000
未払法人税等	121,093	44,818
前受金	989,967	591,733
賞与引当金	392,699	277,854
その他	2,948,801	2,693,416
流動負債合計	9,261,345	7,697,145
固定負債		
長期借入金	3,963,000	3,480,000
退職給付引当金	503,482	484,488
その他	511,989	514,787
固定負債合計	4,978,472	4,479,276
負債合計	14,239,818	12,176,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210,380	2,210,380
資本剰余金	2,756,974	2,146,804
利益剰余金	3,315,964	3,450,347
自己株式	△56	△56
株主資本合計	8,283,263	7,807,474
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,074	1,122
評価・換算差額等合計	1,074	1,122
純資産合計	8,284,336	7,808,597
負債純資産合計	22,524,155	19,985,019

(2)【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	17,257,024
売上原価	16,296,415
売上総利益	960,609
販売費及び一般管理費	* 775,879
営業利益	184,730
営業外収益	
受取利息	14,448
受取手数料	10,043
受取保険金	4,038
その他	25,382
営業外収益合計	53,913
営業外費用	
支払利息	52,338
その他	1,401
営業外費用合計	53,739
経常利益	184,904
特別利益	
固定資産売却益	558
特別利益合計	558
特別損失	
固定資産売却損	365
固定資産除却損	19,564
減損損失	67,999
店舗閉鎖損失	44,508
その他	33,916
特別損失合計	166,354
税引前四半期純利益	19,108
法人税、住民税及び事業税	76,812
法人税等還付税額	△20,275
法人税等調整額	△12,826
法人税等合計	43,711
四半期純損失(△)	△24,603

【第2四半期会計期間】

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
売上高	9,141,917
売上原価	8,330,265
売上総利益	811,651
販売費及び一般管理費	* 369,187
営業利益	442,463
営業外収益	
受取利息	7,930
受取手数料	5,875
その他	20,552
営業外収益合計	34,358
営業外費用	
支払利息	29,139
その他	518
営業外費用合計	29,658
経常利益	447,164
特別利益	
固定資産売却益	558
特別利益合計	558
特別損失	
固定資産売却損	365
固定資産除却損	12,663
店舗閉鎖損失	44,310
その他	33,916
特別損失合計	91,255
税引前四半期純利益	356,467
法人税、住民税及び事業税	59,536
法人税等還付税額	△20,275
法人税等調整額	102,588
法人税等合計	141,849
四半期純利益	214,618

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	19,108
減価償却費	793,839
固定資産除却損	19,564
減損損失	67,999
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△15,260
貸倒引当金の増減額(△は減少)	20,031
賞与引当金の増減額(△は減少)	80,174
受取利息及び受取配当金	△14,490
支払利息	52,338
売上債権の増減額(△は増加)	52,485
たな卸資産の増減額(△は増加)	63,334
仕入債務の増減額(△は減少)	59,461
前受金の増減額(△は減少)	47,523
その他	△166,638
小計	1,079,470
利息及び配当金の受取額	3,012
利息の支払額	△50,317
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,101
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,029,063
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の売却による収入	9,912
有形固定資産の取得による支出	△580,961
無形固定資産の取得による支出	△35,569
敷金及び保証金の差入による支出	△511,075
敷金及び保証金の回収による収入	56,896
その他	37,438
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,023,359
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	450,000
長期借入金の返済による支出	△436,000
配当金の支払額	△105,161
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91,161
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△85,457
現金及び現金同等物の期首残高	290,913
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	360,894
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 566,350

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年8月1日付けで、株式会社リーヴ・スポーツを吸収合併いたしました。

合併に際し、被合併企業の株主である三菱地所株式会社に対して、当社普通株式1,419,000株を割当交付致しました。この結果、当第2四半期会計期間において、その他資本剰余金が610,170千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本剰余金が2,756,974千円となっております。

【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
1	<p>棚卸資産の評価に関する会計基準の適用</p> <p>当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づき簿価を切下げる方法)に変更しております。</p> <p>この変更により、前事業年度と同一の方法によった場合と比べ、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。</p>

【簡便な会計処理】

当第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
1	<p>一般債権の貸倒見積高の算定方法</p> <p>当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。</p>
2	<p>棚卸資産の評価方法</p> <p>当第2四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。</p>
3	<p>繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法</p> <p>繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。</p>

【四半期財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第2四半期累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末 (平成20年3月31日)
※ 有形固定資産の減価償却累計額 9,694,002千円	※ 有形固定資産の減価償却累計額 9,600,858千円

(四半期損益計算書関係)

第2四半期累計期間

当第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
※ 販売費及び一般管理費の主なもの
従業員給料及び賞与 178,137千円
賞与引当金繰入額 35,400千円

第2四半期会計期間

当第2四半期会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
※ 販売費及び一般管理費の主なもの
従業員給料及び賞与 88,299千円
賞与引当金繰入額 21,025千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在)
現金及び預金 532,182千円
預け金(流動資産その他) 34,168千円
現金及び現金同等物 <u>566,350千円</u>

(株主資本等関係)

当第2四半期会計期間末(平成20年9月30日)及び当第2四半期累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期会計期間末
普通株式(株)	21,379,000

2. 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期会計期間末
普通株式(株)	83

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年5月22日 取締役会	普通株式	109,779	5.50	平成20年3月31日	平成20年6月27日	利益剰余金

- (2) 基準日が当事業年度の開始の日から当四半期会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第2四半期累計期間
(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
及び
当第2四半期会計期間
(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

所有権移転外ファイナンス・リース取引について通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理を行っており、平成20年8月1日付けで、株式会社リーヴ・スポーツを吸収合併したことにより、当四半期会計期間末におけるリース取引残高に前事業年度末に比べて著しい変動が認められます。

(借主側)

① リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び四半期末残高相当額

	取得価額 相当額 (千円)	減価償却 累計額 相当額 (千円)	減損損失 累計額 相当額 (千円)	四半期末 残高 相当額 (千円)
建物	22,980	3,447	—	19,533
有形固定資産 「その他」	1,741,987	857,942	16,853	867,192
無形固定資産	16,200	7,100	—	9,100
合計	1,781,167	868,489	16,853	895,825

② 未経過リース料四半期末残高相当額等

未経過リース料四半期末残高相当額

1年内	304,786千円
1年超	616,239千円
合計	921,026千円

リース資産減損勘定の残高 3,512千円

③ 支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額及び支払利息相当額

(四半期累計期間)

支払リース料	160,863千円
リース資産減損勘定の取崩額	2,844千円
減価償却費相当額	148,381千円
支払利息相当額	9,521千円

(四半期会計期間)

支払リース料	81,764千円
リース資産減損勘定の取崩額	1,366千円
減価償却費相当額	79,254千円
支払利息相当額	5,271千円

④ 減価償却費相当額及び利息相当額の算定方法

減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

利息相当額の算定方法

リース料総額とリース物件の取得価額相当額の差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。

(有価証券関係)

当第2四半期会計期間末(平成20年9月30日)

有価証券の四半期貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期会計期間末(平成20年9月30日)

デリバティブ取引の四半期会計期間末の契約額等は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(企業結合等関係)

当第2四半期会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

(パーチェス法適用)

1. 被取得企業の名称及び事業の内容、企業結合を行った理由、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称及び取得した議決権比率

- (1) 被取得企業の名称及び事業の内容

株式会社リーヴ・スポーツ スポーツクラブ事業及びその関連事業

- (2) 企業結合を行った理由

スポーツクラブを全国展開する当社と、首都圏を中心にスポーツクラブを展開する株式会社リーヴ・スポーツが合併することにより、事業の拡大を図り、競争力の強化を進めてまいります。

また、株式会社リーヴ・スポーツの親会社である三菱地所株式会社と資本関係を築くことにより、三菱地所株式会社が有する不動産デベロップメント力と当社が有するスポーツクラブ運営のノウハウ及び健康ソリューション力とを相互に提供し、相互にメリットのある提携関係を築くことを目的としております。

- (3) 企業結合日

平成20年8月1日

- (4) 企業結合の法定形式

当社を存続会社とする吸収合併(会社法第796条第3項に定める簡易合併)

- (5) 結合後企業の名称

株式会社ルネサンス

- (6) 取得した議決権比率

86%

2. 四半期財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

平成20年8月1日から平成20年9月30日まで

3. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価

株式会社ルネサンスの株式 610,170千円

取得に直接要した支出

アドバイザー費用 8,000千円

取得原価 618,170千円

4. 株式の種類別の交換比率及びその算定方法並びに交付した株式数及びその評価額

(1) 株式の種類別の交換比率

株式会社リーヴ・スポーツの普通株式1株に対して株式会社ルネサンスの普通株式330株

(2) 株式交換比率の算定方法

当社は、本合併に用いられる合併比率の算定にあたって公正性を期すため、第三者機関に両者の企業価値の算定を依頼し、その算定結果に基づき、合併当事者間において慎重に協議の上、株式交換比率を決定しております。

(3) 交付した株式数及びその評価額

交付した株式数	1,419,000株
交付した株式の評価額	610,170千円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

(1) のれん金額 310,610千円

(2) 発生原因

主として株式会社リーヴ・スポーツが展開するスポーツクラブ事業及びその関連事業から期待される超過収益力であります。

(3) 償却の方法及び償却期間

20年間で均等償却

6. 企業結合が当事業年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当四半期累計期間の四半期損益計算書に及ぼす影響の概算額

影響は軽微であります。なお、当該注記6.については監査証明を受けておりません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)		前事業年度末 (平成20年3月31日)	
1株当たり純資産額	387.50円	1株当たり純資産額	391.21円

2. 1株当たり四半期純利益及び四半期純損失

第2四半期累計期間

当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
1株当たり四半期純損失	△1.20円

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純損失については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
四半期損益計算書上の四半期純損失(千円)	△24,603
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純損失(千円)	△24,603
普通株式の期中平均株式数(千株)	20,432

第2四半期会計期間

当第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
1株当たり四半期純利益	10.27円

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
四半期損益計算書上の四半期純利益(千円)	214,618
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	214,618
普通株式の期中平均株式数(千株)	20,900

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

【参考】

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) 中間損益計算書

区分	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高	16,520,554	100.0
II 売上原価	15,621,958	94.6
売上総利益	898,596	5.4
III 販売費及び一般管理費	770,709	4.6
営業利益	127,887	0.8
IV 営業外収益	34,386	0.2
V 営業外費用	40,021	0.2
経常利益	122,252	0.8
VI 特別利益	3,697	0.0
VII 特別損失	60,659	0.4
税引前中間純利益	65,290	0.4
法人税、住民税及び事業税	48,378	
過年度法人税等還付額等	△66,026	
法人税等調整額	73,764	56,116
中間純利益		9,174
		0.1

(2) 中間キャッシュ・フロー計算書

	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税引前中間純利益	65,290
2 減価償却費	761,602
3 退職給付引当金の増加額	3,427
4 前払年金費用の増加額	△15,626
5 固定資産除却損	25,852
6 減損損失	34,334
7 受取利息及び受取配当金	△12,264
8 支払利息	38,182
9 売上債権の増加額	△104,158
10 たな卸資産の減少額	12,784
11 前払費用の増加額	△126,556
12 仕入債務の増加額	2,832
13 未払金の減少額	△47,560
14 未払費用の減少額	△72,500
15 前受金の減少額	△136,339
16 未払消費税等の増加額	3,053
17 その他	△77,853
小計	354,501
18 利息及び配当金の受取額	1,096
19 利息の支払額	△35,864
20 法人税等の支払額	△50,642
営業活動によるキャッシュ・フロー	269,091
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有形固定資産の取得による支出	△1,063,893
2 無形固定資産の取得による支出	△53,017
3 有形固定資産の売却による収入	48,796
4 敷金・保証金の差入による支出	△349,367
5 敷金・保証金の回収による収入	26,777
6 その他	14,936
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,375,767
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金純増加額	200,000
2 長期借入れによる収入	1,500,000
3 長期借入金の返済による支出	△315,000
4 配当金の支払額	△249,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,135,500
IV 現金及び現金同等物の増加額	28,823
V 現金及び現金同等物の期首残高	440,177
VI 現金及び現金同等物の中間期末残高	469,000